

第38回高柳賞贈呈式が2024年12月21日 ホテルクラウンパレス浜松において
挙行されました。



受賞者

■高柳記念賞

氏名 池田 浩也 (いけだ ひろや)
所属 静岡大学 総合科学技術研究科
職 教授

研究課題：「半導体ナノ結晶を用いた高性能熱電変換デバイスの開発」

■高柳研究奨励賞 (うすき しん)

① 氏名 白杵 深
所属 静岡大学 学術院工学領域
職 准教授

研究課題：「計算イメージング顕微鏡の研究開発」

② 氏名 渋川 敦史 (しぶかわ あつし)

所属 北海道大学 電子科学研究所

職 准教授

研究課題：「超高速かつ超広視野な回折限界集光技術の開発」

③ 氏名 本良 瑞樹 (もとよし みずき)

所属 静岡理工科大学 理工学部

職 教授

研究課題：「ダイレクトデジタル RF 技術を用いた小型無線機に関する研究」

④ 氏名 渡辺 向陽 (わたなべ こうよう)

所属 浜松ホトニクス(株) 中央研究所

職 専任部員

研究課題：「超短パルス光の波形制御技術開発と屈折率分散計測への応用展開」

中日新聞

2024年12月22日

高柳記念賞に静大・池田教授
浜松で贈呈式 電子工学で顕著な業績

電子工学の分野で顕著な業績を上げた研究者を表彰する「第38回高柳賞」の贈呈式が21日、浜松市中央区のホテルであった。高柳記念賞には静岡大総合科学技術研究科の池田浩也教授(58)が選ばれた。賞状と200万円が贈られる。

池田教授は半導体ナノ結晶を使った熱電変換デバイスの開発が評価された。同日は所用のため、欠席した。

高柳研究奨励賞には4人が選ばれた。受賞者を代表し、静大電子工学研究所の臼杵深准教授(47)は「栄誉ある賞をいただいた。電子工学にこれからも寄与できるように研究を進めたい」とあいさつした。

高柳賞は世界で最初にブラウン管に「イ」の字を映し出し、「日本のテレビの父」と呼ばれる高柳健次郎の功績を記念し、浜松電子工学奨励会が毎年実施している。県内の研究機関か、静大に在籍経験のある研究者を選考した。

(長谷川 竜也)

研究奨励賞の他の受賞者は次の皆さん。

▽研究奨励賞 渋川敦史、本良瑞樹、渡辺向陽

記念撮影する受賞した臼杵さん(前列左から2人目)、本良さん(同右から4人目)、渡辺さん(同3人目) 浜松市中央区のホテルで

第38回 高柳賞贈呈式
公益財団法人 浜松電子工学奨励会



三村秀典理事長挨拶



白杵深氏受賞



本良瑞樹氏受賞



渡辺向陽氏受賞



川田善正理事祝辞



白杵深氏研究発表



本良瑞樹氏研究発表



渡辺向陽氏研究発表



木村雅和電子工学研究所長挨拶



田部道晴選考委員選考経過報告